



当資料は1月29日(金)大阪機械記者クラブ、自動車産業記者クラブにて資料配布させて頂いております。

2010年1月29日

報道関係各位

古い消火器が森林再生に一役  
古い消火器の回収費用の一部を「エコウータン募金」へ



消防車の開発・製造・販売を手がける株式会社モリタホールディングス(本社:大阪・東京、代表取締役社長:中島正博、東証・大証1部)の100%子会社、株式会社モリタ防災テック(本社:東京、代表取締役社長:土谷和博)および宮田工業株式会社(本社:茅ヶ崎市、代表取締役社長:近藤勝)では、古い消火器の回収費用の一部を世界の森林再生機構へ寄付する活動「**エコウータン募金**」を4月から開始いたします。

消火器にも寿命があり、その耐用年数は製造年から8年です。モリタ防災テック・宮田工業は、以前より古い消火器を毎年約70万本回収してまいりました。回収された消火器の容器は分解して、鉄・アルミ・ステンレスなどにリサイクルし、中身の消火薬剤は肥料原料へリサイクルする方法と再び消火器の消火薬剤としてリユースする方法と2つの方法で再活用してまいりました。

今後、さらにメーカーの垣根を越えて古い消火器の回収に取り組むため、平成22年1月より社団法人日本消火器工業会が取得する広域認定制度システムがスタートいたしました。この制度は、昨年9月に大阪で発生した古い消火器の破裂事故のような、消火器の老朽化に起因する事故を未然に防ぎ、安心して消火器を設置していただくためのものです。

今回、モリタグループが新たに取り組む「エコウータン募金」は、日本全国から回収された古い消火器の回収費用から、1本当たり「1円」を特定非営利活動法人アジア植林友好協会(※)へ寄付する活動です。モリタグループの全国の支店・販売代理店様(モリタ防災テック、宮田工業が指定する特約店)約5,000店によってこの「エコウータン募金」活動を展開してまいります。なお、この活動にご参加いただく販売代理店様へは「エコウータン」マークのシール等を配布して周辺地域への普及活動に努めてまいります。

私たちモリタグループは今年で創業103年を迎えます。常に「人と地球のいのちを守る」というローガンを掲げ、全社員が「安全で住みよい豊かな社会」に貢献できるよう邁進してまいりました。今回の「エコウータン募金」によって、世界の森林に1本でも多くの植林がなされ、動物たちの安全な場所が確保されることを強く願っております。

本件に関するお問合せ先

株式会社モリタホールディングス 広報室 担当:浦野 TEL:03-5777-5088

## (※)特定非営利活動法人アジア植林友好協会 概要

代表者： 宮崎 林司

設立： 平成 14 年 9 月 10 日

住所： 〒188-0011 東京都西東京市田無町 3 丁目 5 番 4 号

TEL： 042-451-6120

URL： <http://www.agfn.org>

活動内容： アジア地域で植林活動を行う事でアジアの熱帯雨林の再生に寄与すること、また、植林活動を通じてアジア地域の人々の民生向上(自立支援)に協力していくことを目的とする。

- ・環境の保全を図る活動
- ・国際協力の活動
- ・熱帯雨林再生のための植林の必要性の普及活動
- ・インドネシアとその他のアジア地域での植林に関する事業
- ・植林に関するセミナー、講演会等の開催
- ・オランウータンのリハビリセンターへの寄付
- ・村落基盤整備事業 他

## ■廃消火剤の循環型システム「サークル・モリタ・エコ」

